

第2話 脳梗塞は脳の酸欠死

〈第1話〉で脳卒中の7割は脳梗塞であるとお話しました。

① 脳梗塞とはどんな病気でしょうか？

脳の血管が詰まって塞がったために生じる病気です。

脳細胞は血液から酸素をもらって呼吸をしています。血管が詰まると酸素や栄養が脳に運ばれず、脳細胞は直ちに活動できなくなり、手足が動かないなどの症状が出現します。そのまま酸素が来ない状態が続くと酸欠で脳細胞は壊死(脳梗塞)をおこします。

しかし早期に血管閉塞が解消されれば、脳梗塞を免れる可能性も十分あります。



② どんな時に脳梗塞を疑うの

脳は、それぞれの部位で異なった働きをしています。そのため脳細胞の活動が停止した部位によって出現する症状も異なります。

- ・手足の動きが悪く、ものを落とす
- ・脚を引きづって歩く



- ・ろれつが回らない
- ・思ったことが言葉にならない
- ・話が通じない



- ・身体の片側をぶつける(視野がかけている)



その他、力はあるのに立てない、まっすぐ歩けない。手足の感覚が鈍くなったなどの症状が突然に出た時は要注意です。

③ 脳梗塞、起こって直ぐの治療

・脳血流再開通治療

なるべく早く、脳が壊死を起こす前に血流が再開すれば、脳梗塞の範囲を最小限にとどめることができます。以下の方法があり、両方が行われることも多くあります。

(1) t-PA 療法

血栓を強力に溶かす点滴治療で、発症 4.5 時間以内の開始が必要です。

(2) 血栓回収術(血管内治療)

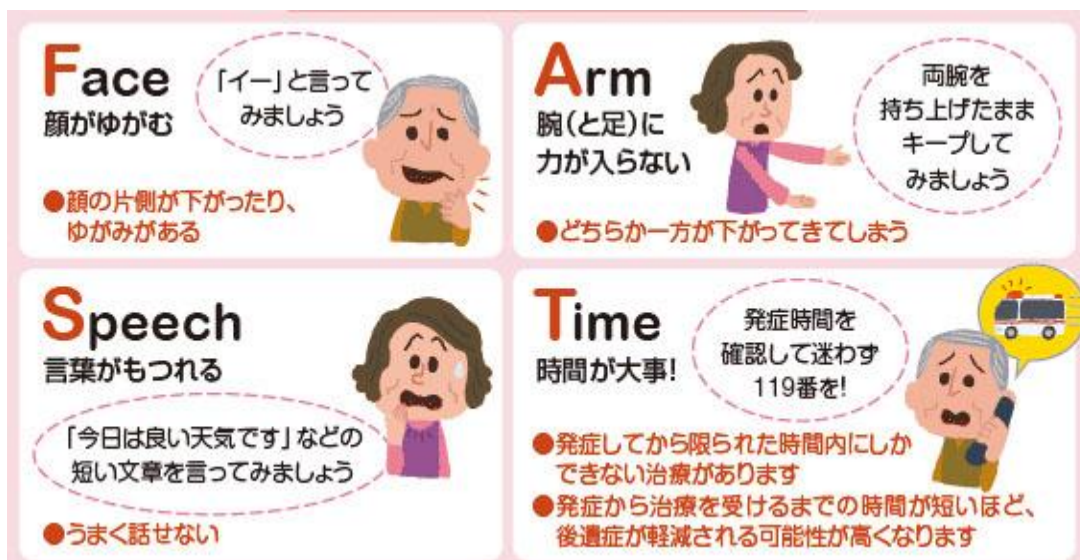
カテーテルといわれる細い管を太ももの付け根の動脈から入れ、その先端を血管閉塞部位まで誘導し、血栓を取り除きます。発症から一般的には 6 時間以内が推奨され、病変の状態によっては 24 時間以内まで可能です。

・再発予防、脳保護療法

再開通治療の有無にかかわらず、急性期は再発のリスクが高いため、原因を調べたうえで嚴重な再発予防が必要です。また脳の損傷をできるだけ抑える薬物治療も必要です。

④ 脳梗塞、一刻も早く治療を始めるためには **FAST** !。

FAST は英語で、**急いで**の意味ですね。



Face, Arm, Speech 一つでもあれば、Time(何時に起こったかを確認し)

一刻も早く (FAST)

専門医を受診してください。